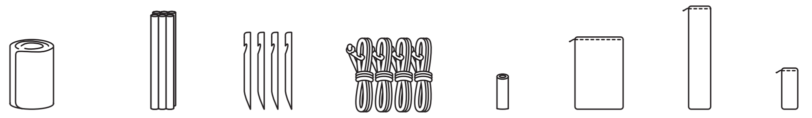
snow peak
outdoor lifestyle creator since1958

取扱説明書　Ver 1.01

SSD-604
ファル4

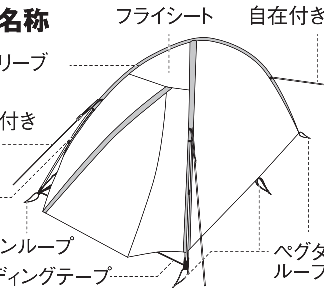
このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この商品は山岳用テントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

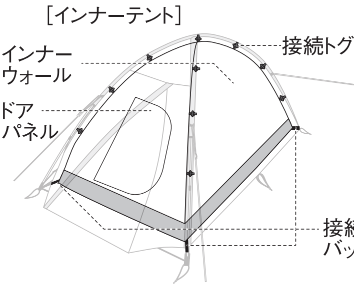
■セット内容



インナーテント×1　フライシート×1
本体フレーム×2
ジュラルミンV型ペグ×11
自在付ロープ2.9m×4
リペアパイプ×1
本体ケース×1
フレームケース×1
ペグケース×1

■部分名称





ご使用の前に　よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

⚠警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

⚠注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

取扱上の注意

⚠危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- ●このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなど裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化炭素中毒などの恐れがあり大変危険です。
- ●テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。

⚠警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- ●気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想されるときは速やかにテント泊を中止して安全な場所へ避難してください。
- ●高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。
- ●風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

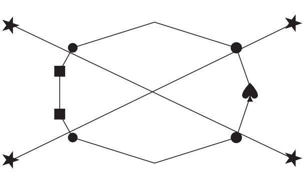
⚠注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- ●日差しによりフライシート表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- ●焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴をあけてしまう場合があります。
- ●テントの設営・撤収の際は、フレームをしっかりと掴んで作業してください。フレームの先端がハネ返るなどして思わぬ事故になりますので、近くに人がいないかなど、周囲の安全を確認してください。
- ●張り綱でしっかりとテントを固定してください。
- ●テントの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。

設営の手順

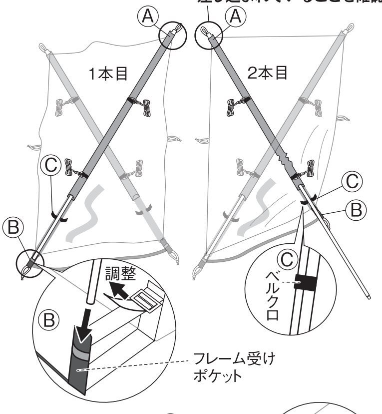
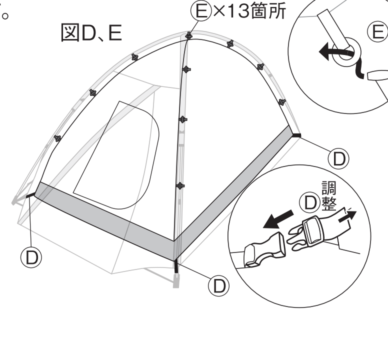
①フライシートを平らな場所に広げ、ビルディングテープが留っていること確認してください。
②本体フレームを伸ばし、接続部分をしっかり連結します。※接続部分にすき間ができないように、しっかりと差し込んでください。
③片方のスリーブにフレームを差し込みます。スリーブの末端は袋状になっているので、フレームが止まるまで入れ込んでください。このとき、フレームが最後まで入っていることを確認してください。(図A)
④フレームが末端で止まったら、フレームのもう一端をフレーム受けポケットに差し込みます。(図B)
⑤もう1本のフレームも③④同様に設営します。※フレームの設営は1本ずつ行ってください。
⑥フライシートが自立したらベルクロ(図C)をフレームに留めます。
⑦フライシートの中に入り、インナーテントを接続します。接続する順番は奥から手前に向って順に行ってください。(図D、E)
⑧●テントコーナー4箇所、■フライシートフロント2箇所、♠フライシートバック1箇所、★張り綱4箇所の順番で、ペグもしくは岩などで固定します。(図F)※重要な固定箇所は★張り綱の4箇所ですが、基本的には●■♠の箇所も固定する様にしてください。
※2回目以降の設営では設営を素早く行うために初回の撤収時インナーを取り外さずに収納することもできます。

図F



★張り綱、●テントコーナー、■フライシートフロント、♠フライシートバック

図A、B、C



図D、E